

主な施策の取組み「相談支援体制の充実とネットワークの強化」

認知症高齢者の支援

平成 30 年度の取組み

平成 29 年度の認知症連携部会では、認知症高齢者の支援における課題として、医師と在宅介護・地域包括支援センター、医師と介護事業者、介護事業者同士など、様々な職種が互いに連携する意識を持ち、直接相談や情報交換ができる仕組みや関係性の構築が必要とされている。

30 年度は、B P S D が顕著な高齢者に対する支援に認知症初期集中支援チームの仕組みを活用し、チームによる支援者間のスムーズな意思疎通、情報共有に取り組んでいる。

引き続き、市内 6 か所の在宅介護・地域包括支援センターに設置している認知症初期集中支援チームを活用し、相談支援体制の強化を図っていく。

□事例検討において示された課題

平成30年度武蔵野市認知症連携部会第1回 資料3

○ 平成29年度第3回の部会にて実施した事例検討において、各部会員が「事例検討シート」に記したメモを集約し、認知症高齢者とその支援者(家族)を取り巻く各関係機関間の連携における課題を図示。

